



■発行人・発行所／
学校法人 北海道カトリック学園 理事長 勝谷 太治
札幌市中央区北1条東6丁目10カトリック札幌司教館内

大人は幼稚園時代のことをどのくらい覚えているものでしょうか。大学での授業の際に、学生に「幼稚園や保育園での思い出は？」と聞くと、楽しかった遊びのこと、行事のこと、好きだった先生のことなど様々な思い出が語られます。そんな話を聞いていると、自分自身の遙か昔の幼稚園での思い出が蘇ってきます。



クランクランとシーライ

理事長 勝谷 太治

自分のできない、ダメな子だ…と落ち込んだことを覚えていませんか。大学での授業の際に、学生に「幼稚園や保育園での思い出は？」と聞くと、楽しかった遊びのこと、行事のこと、好きだった先生のことなど様々な思い出が語られます。そんな話を聞いていると、自分自身の遙か昔の幼稚園での思い出が蘇ってきます。

「自分はできない、ダメな子だ…」と落ち込んだことを覚えていませんか。大学での授業の際に、学生に「幼稚園や保育園での思い出は？」と聞くと、楽しかった遊びのこと、行事のこと、好きだった先生のことなど様々な思い出が語られます。そんな話を聞いていると、自分自身の遙か昔の幼稚園での思い出が蘇ってきます。

「花川マリア幼稚園」は、40年間幼児教育に努めてまいりました。この度、藤女子大学花川キャンパス内に新築移転し、2019年4月1日「花川マリア認定こども園」として開園しました。現在0歳から就学前の子ども達68名が元気に通っています。緑豊かな木々に囲まれた園舎は、楕円形の平屋建てです。長く広い廊下は、ハイハイや歩いて探索をする0、1歳児にとって大変良い遊び場で、3、5歳の縦割りクラスの子ども達との交流の場にもなっています。玄関を出ると、花川マリア院が見え、いつもマリア様にお守りいただいているような温かい気持ちになります。



「伝わってくる温かさ」
虹の森カトリック幼稚園 保護者 坂本 香織
娘はこの春、憧れの年長へと進級しました。縦割りクラスで上の子たちを見ていたので、次はあれもこれも出来るようになるんだと期待いっぱいにしていました。娘は言葉で表現するのが好きで、朝起きてから夜眠りにつくまで、幼稚園での出来事や自分の感じた事について毎日話してくれます。遊具の取り合いになったけれど、話し合ってそれぞれが納得する方法を見つけた話。友達と素敵な話、驚いた話。明日の話、一か月後、3か月後、そしてクリスマスや卒園までの沢山のお楽しみ話、どの話も喜びや発見、期待に溢れています。たくさんの異年齢の友達、先生たちとの関わりが持てる事で、こんなにも素晴らしい世界が広がっていると感じられるなんて、私は自分の幼い頃、何を感じていたかはほとんど覚えていないので、娘の話にただただ感動するばかりです。

「自分はできない、ダメな子だ…」と落ち込んだことを覚えていませんか。大学での授業の際に、学生に「幼稚園や保育園での思い出は？」と聞くと、楽しかった遊びのこと、行事のこと、好きだった先生のことなど様々な思い出が語られます。そんな話を聞いていると、自分自身の遙か昔の幼稚園での思い出が蘇ってきます。



「自分はできない、ダメな子だ…」と落ち込んだことを覚えていませんか。大学での授業の際に、学生に「幼稚園や保育園での思い出は？」と聞くと、楽しかった遊びのこと、行事のこと、好きだった先生のことなど様々な思い出が語られます。そんな話を聞いていると、自分自身の遙か昔の幼稚園での思い出が蘇ってきます。

「自分はできない、ダメな子だ…」と落ち込んだことを覚えていませんか。大学での授業の際に、学生に「幼稚園や保育園での思い出は？」と聞くと、楽しかった遊びのこと、行事のこと、好きだった先生のことなど様々な思い出が語られます。そんな話を聞いていると、自分自身の遙か昔の幼稚園での思い出が蘇ってきます。

園紹介

花川マリア認定こども園

園長 平野 志穂



「花川マリア幼稚園」は、40年間幼児教育に努めてまいりました。この度、藤女子大学花川キャンパス内に新築移転し、2019年4月1日「花川マリア認定こども園」として開園しました。現在0歳から就学前の子ども達68名が元気に通っています。緑豊かな木々に囲まれた園舎は、楕円形の平屋建てです。長く広い廊下は、ハイハイや歩いて探索をする0、1歳児にとって大変良い遊び場で、3、5歳の縦割りクラスの子ども達との交流の場にもなっています。玄関を出ると、花川マリア院が見え、いつもマリア様にお守りいただいているような温かい気持ちになります。



「花川マリア幼稚園」は、40年間幼児教育に努めてまいりました。この度、藤女子大学花川キャンパス内に新築移転し、2019年4月1日「花川マリア認定こども園」として開園しました。現在0歳から就学前の子ども達68名が元気に通っています。緑豊かな木々に囲まれた園舎は、楕円形の平屋建てです。長く広い廊下は、ハイハイや歩いて探索をする0、1歳児にとって大変良い遊び場で、3、5歳の縦割りクラスの子ども達との交流の場にもなっています。玄関を出ると、花川マリア院が見え、いつもマリア様にお守りいただいているような温かい気持ちになります。



当園のお買い物ごっこは、毎年子ども達が日々の生活の中で触れ、楽しんでいる絵本の中から、各縦割りクラスで一冊選ぶことから始まります。その絵本をテーマに様々なお店や品物を考え、当日を心待ちにしながらクラスで一つになって絵本の世界観を広げ、作り上げていきます。

当日まで、繰り返し絵本を読み、自由遊びでも「絵本見てもいい?」と尋ね、友達と一緒に期待を膨らませ、一人ひとりの子ども達がとても楽しみにしています。お店決めや品物決めでは、いつも子ども達の発想豊かなアイデアがたくさん発表されます。その中には、保育者が思い付かないようなアイデアがあり、子ども達の発想力・想像力の素晴らしさに驚かされます。お店や品物が決定し、制作が始まると、子どもたちのドキドキ・ワクワクが止まりません。制作中は、完成に期待しながら、当日のお客さんのことを思い「かわいいのにしよう。」「きれいな色にしよう。」など目をキラキラさせながら作業を進めます。また、他のクラスのお店の話を聞き「絶対買いに行こう!」「楽しみ!」とさらに期待を膨らませてきます。

当日は、全てのクラスが絵本の世界に様変わりし、子ども達はその世界へと飛び込んでいきます。一人ひとりが、自分の役割をしっかりと行い、様々な世界を体験しながら買い物をする子ども達の笑顔は、とても輝いています。その笑顔は、保育者にとって大きな宝物の一つになっています。今年のお買い物ごっこも今から楽しみです。